

| | | |
|--------|---|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい音楽活動を通して、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 ・リズムに重点をおいた活動を通して、基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気づくようにする。 ・音楽の楽しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。 | |
| 学期 | 学習内容・到達目標 | 学習内容・到達目標 |
| 前 期 | <p>うたでもだちのわをひろげよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで1・2・3 りんどんばし ・おちゃらかほい ・かくれんぼ ・子犬のピンゴ ・友達と一緒に、楽しんで歌ったり身体表現をしたりすることができる。 <p>ドレミであそぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレミのうた ・ドレミあそび ・かっこう ・かえるのがっしょう ・ぷっかりくじら ・夕日 ・階名唱に興味をもって、進んで歌ったり身体表現をしたりしようとする。 ・拍の流れや音の高さを感じ取って、歌い方や身体表現を工夫しようとする。 ・旋律を階名で暗唱したり、楽器で演奏したりすることができる。 <p>リズムにのってあそぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルコこうしんきょく ・いるかはざんぶらこ ・リズムあそび ・山のポルカ ・リズム奏に興味をもって、即興的な表現を楽しもうとする。 ・リズム譜を見ながら、拍の流れに乗って楽器を演奏することができる。 | <p>ようすをおもいうかべよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕やけこやけ ・口ぶえふきと子 ・小ぎつね ・楽曲の気分を感じ取って、場面の様子に合う歌い方を工夫しようとする。 ・声や音の出し方に気を付けながら、気持ちをこめて演奏することができる。 <p>みんなであわせよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えがおかがやいて ・木のはのゆうびん ・森の音がくかい ・こぐまの二月 ・声や音の重なりに関心をもって、進んで聴いたり演奏したりしようとする。 ・楽器の音色の違いに気づいて聴いたり、演奏の仕方を工夫したりできる。 ・友達の歌声や楽器の音を聴きながら、歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 ・楽器の音色や重なり合う音の響きを感じ取りながら聴くことができる。 <p>のびのびとうたおう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はるがきた ・うたえ バンバン ・発音や声の出し方に興味をもって、進んで歌い方を工夫しようとする。 ・楽曲の気分を感じ取って、歌い方を工夫して いる。 ・発音や声の出し方に気を付けて、みんなで声を揃えて歌うことができる。 ・歌声に気を付けながら、範唱や友達の歌を聴くことができる。 |
| | <p>いいおとをみつけてあそぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫のこえ ・音さがし ・かぼちゃ ・シイコペーテッドク・ロック ・音色や響きの違いを感じ取って、音の出し方や組み合わせ方を工夫しようとする。 ・音の出し方を工夫しながら、拍の流れに乗って打楽器などを演奏することができる。 | |

音楽科の評価

・音楽科では四つの観点で評価します。

| 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽的な感受や表現の工夫 | 表現の技能 | 鑑賞の能力 |
|----------------------------------|--|---|-------------------------------------|
| 音楽に対する興味・関心をもち、進んで音楽活動をたのしもうとする。 | 楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。 | 範唱や範奏を聞いて演奏したり、リズム譜に親しんだりするとともに、自分の歌声や発音に気をつけて歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。 | 音楽を特徴付けている要素に気をつけながら、楽曲の気分を感じ取って聴く。 |

・次のような方法で見えていきます。

| | | | | | |
|-------------|--------|---------|------|------|------|
| 行動観察（発言・発表） | 取り組む様子 | 演奏場面の観察 | 演奏聴取 | テスト | 鑑賞態度 |
| 歌唱態度 | 歌唱 | リズム伴奏 | 手拍子 | 身体表現 | 歌う表情 |

おうちの方へ

身体表現・リズム遊びなど、「音楽って楽しいな」と思えるような活動を多く取り入れます。鍵盤ハーモニカの練習の継続、合奏、合唱を通して、自分で演奏できる喜びや友達と合わせる楽しさを感じることができるようになります。家庭でも習った歌を一緒に歌う、演奏を聴くなど子どもと楽しむとともに賞賛をお願いします。